

おてんきひろば 2018 in 倉吉

とき 8月11日(土) 午後1時から4時

ところ 倉吉交流プラザ 2階 視聴覚ホール



入場無料

- * 工作 (ペットボトルで竜巻を作ろう) ※工作には数に限りがあります
- * 実験 (液状化・竜巻・雨滴浮遊装置を使って雨粒の形を観察してみよう)
- * 気象カルタ大会
- * クイズラリー
- * 展示 (海洋気象ブイ・震度計・雨量計・風向風速計)
- * おてんきサイコロ・ペーパークラフトもあるよ!



気象庁マスコット
はれるん



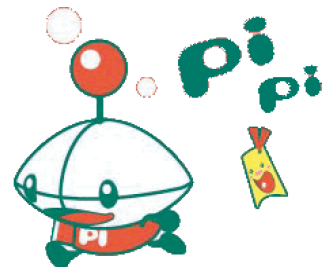
起震車の体験ができるよ

会場はこちら



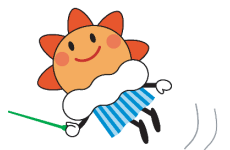
当日は

はれるん・ぼうさいトリピー・くらすけくんが
会場にやってくるよ



- *主催 鳥取地方気象台
倉吉市立図書館
- *後援 気象友の会

お問い合わせ先 (鳥取地方気象台)
電話 (0857) 29-1312



※当日の天候の状態(台風や地震など)によって中止する場合があります。詳しくは気象台までお問い合わせください。

おうちの方へ～地震への備え～

活断層の地震に備えるリーフレットより
文部科学省・気象庁

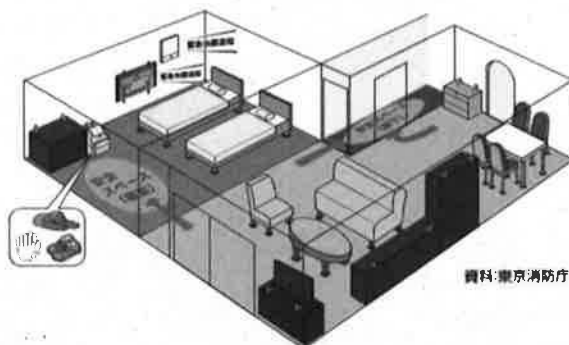
事前の備え

陸域の浅い地震では、緊急地震速報が間に合わないことがあります。このため、突然の揺れに十分に身構えることが難しい場合を想定した事前の備えがとても大切です。

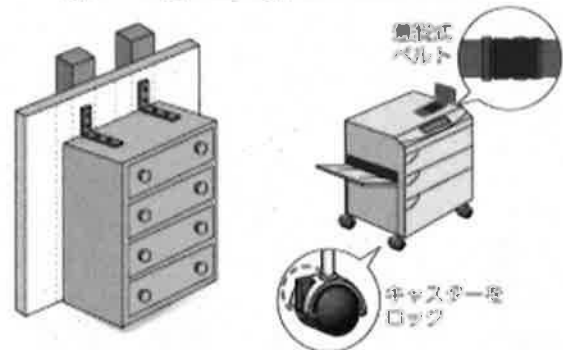
自分の住んでいる地域の過去の地震やその被害を知って、陸域の浅い地震でどのようなことが起こるのかを想像しながら、事前の備えを行いましょ。自宅や学校・職場など、普段の自分の行動範囲を考えながら、どのような危険が起こりうるか考えて備えることが大切です。

陸域の浅い地震だけでなく地震全般への備えとしては、具体的には建物の耐震補強、家具の固定、水や食料等の備蓄、避難場所の確認などがあります。家族と相談しながら備えを進めましょ。

安全スペースを確保しましょ



家具や家電を金具等で固定しましょ



住居内で、なるべくものを置かない安全スペースを作っておきましょ。緊急地震速報を受けた場合や強い揺れが襲ってきたときには、安全スペースへ退避し姿勢を低くして身の安全を図りましょ。

散乱したガラス等でケガをすることがあるので、厚底のスリッパや軍手などを用意しておきましょ。

地震が発生したら

緊急地震速報を見聞きしたり強い揺れを感じたら、大きな家具や窓ガラス、ブロック塀や崖などから離れ、身の安全を図りましょ。強い揺れが続いている間は、自分の身を守ることを最優先にしてください。

慌てて戸外に飛び出したり、無理に火を消しに行くことは危険です。

揺れが収まったら、火災の発生を防ぐため、火を消したり、電気のブレーカーを止め、周りの状況を良く確認して、より安全な場所に避難しましょ。

地震が繰り返し発生しているあいだは

ひとたび大きな地震が発生すると、しばらく（数日間～数週間が目安）は、**同程度かさらに強い揺れの地震が繰り返し起こるおそれがあります**ので、次のようなことに十分注意しましょ。

屋内で気をつけること

強い揺れによって、建物が崩れやすくなっていることがありますので、建物の安全性が確認できるまでは近づかないようにしてください。建物の安全性が確認できた後も強い揺れに備えて、落ちてきたり、倒れてきたりしそうな家具などがいない安全な場所で過ごしましょ。

屋外で気をつけること

屋外では、傾いた家屋やブロック塀が倒れてくる可能性があります。崖や裏山等は、その後の地震で崩れる危険性もあるので、不用意に近づかないようにしましょ。強い揺れで地盤が緩んでいることもあるので、その後の雨や雪にも注意してください。

デマ（流言飛語）に気をつけること

大きな地震が発生すると、デマなどが流れることがあります。根拠のないデマなどに惑わされることなく、気象台や地元自治体などの信頼できる情報をもとに適切に行動することが大切です。また、信頼できる情報かどうか分からない場合には、むやみに広めないようにすることも災害時の混乱を防ぐ大切な行動です。